

令和 6 年度 河内町特別職報酬等審議会
議 事 録

令和 6 年 4 月 17 日（水）

河内町特別職報酬等審議会

1. 日 時 令和 6 年 4 月 17 日（水）
13 時 30 から 15 時 25 分まで
2. 場 所 河内町役場 2 階 会議室
3. 出席委員 元教育長 大野 繁
農業委員会長 栗山 功
元議会議員 篠原 佳治
町民代表 眞行寺 博
元副町長 藤井 俊一
4. 次 第 (1) 開 会
(2) 町長挨拶
(3) 委員の紹介
正副会長の選出
(4) 諮問書伝達
(5) 議 事
特別職の報酬等の額について
①関係資料の説明
②審議
③今後の審議の進め方等
(6) 閉 会

【事務局】 それでは定刻となりましたので、ただいまから、河内町特別報酬等審議会第 1 回会議を開会させていただきます。開催にあたりまして、野澤町長より、ご挨拶をお願いします。

【町長】 (あいさつ)

【事務局】 ありがとうございます。それでは委員の皆様方に改めて簡単なご挨拶と正副会長の選出をしていただきたいと思います。

(委員自己紹介、正副会長選出、諮問書伝達)

【事務局】 それでは議事の方に移りたいと思います。条例第 4 条第 1 項の規定により、議長を大野会長にお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

【会長】 よろしく申し上げます。それでは事前に配付していただいた資料について説明をお願いします。

【事務局】 （資料一通り読み上げ、説明）

【会長】 ありがとうございます。それでは今説明いただいた資料の中で何か質問や、もう少し詳しく説明いただきたいという点があればお願いします。

【委員】 他に比べて、異様に河内町が安いように感じるのですが、なぜでしょうか。

【事務局】 資料にもあるとおり、前回の給与改定した年が平成 16 年度となっているのですが、この時期は特に行政改革を推進している時期でありまして、その一つとして、町長、副町長、教育長の給与削減、町長を例にしますと 72 万から 61 万円に改定したものであります。また、他の市町村を確認すると「数年後元に戻す」といったところもあったのですが、河内町の場合はそのまま元に戻さず、今まで来てしまったという状況でございます。

【会長】 それでは一通り説明していただきましたので、まずは改定が必要であるという方向でご意見をいただけたらありがたいと思います。

【委員】 報酬を上げるにあたって、時期がなぜ今なのか。それが腑に落ちないというか賛成できません。というのも、議員の選挙もまだ終わったばかりです。議員報酬は 35~40 万無いと生活給になっていけないので、それが立候補したくないという気持ちに繋がってしまっていると思います。なので、上げること自体に反対ではないが、なぜ今なのか。せめて半期待ちましょう。

【委員】 資料を見て、こんなに安いのかと驚きました。河内町のトップが本当にこんな数字でいいのか。というのが正直な気持ちですので、上げることに賛成です。また、時期の話もありましたが、20 年近く改定していないということであれば、一定の時期で上げた方がいいのではないかというのが私の考えです。また、今の財政についてあまり詳しくは分かっていないのですが、この議員報酬を上げた場合、どのくらいの負担が発生するかシミュレーションはしていますか。

【事務局】 改定前の額に戻すと年額で約 700 万円増となる見込であります。

【委員】 資料を見るまで気づかなかったが、河内町は他に比べて低いですね。私は議員と協力してやっていきたいのに人数も減ってしまっている。そんな中でこの資料を見ると、こんな報酬じゃ活動するのも難しいのではないか。ましてや近年は物価も上昇しています。

【委員】 議会も高齢の人が多いわけですから、これからは若い人が立候補しないと仕方がな

いわけで、その前にこの報酬の問題をなんとかしなければなりません。30 万という金額もなかなか中途半端な金額だと思います。大体 35~40 万円くらいは無いと生活給として成り立たないです。

【委員】 私としましてはこれからの議員選挙でも若い人が出るためにも上げないといけないと思います。安い期間がずっと続いているので、今すぐに上げるべきだと思います。

「阿見町がこの金額だから河内町もこういう金額」という決め方ではなく、しっかりと理由付けした報酬額を決定した方がいいと思います。今までも報酬を上げる時期についてはいろいろな意見があったと思います。ですが、それをずっと加味しているといよいよ決まらないのではないのでしょうか。

【委員】 議員を 2 人減らした時期があったので、そのタイミングで改定すればよかったのだと思います。そのタイミングを逃したからと言って今この選挙が終わった時期にいきなり上げようというのはあまりよくないと思います。

【委員】 報酬を上げるから活動しなさい、下げるから活動しなくていいです、という訳ではないと思います。やる人はやっていて、やらない人は全然やっていない。これは議員の意識の差です。それを住民がチェックできるような環境がほしいです。

【会長】 それでは報酬を上げるという方向で、時期はまだ未定と。まずは金額をどうするか決めましょう。

【委員】 額を決めるには何か納得のできる根拠が必要ではないのでしょうか。自分はもちろん今より上がった方がいいと思いますけど。河内町もそうですが、他の市町村も他を参考にするという考えがあると思います。

【委員】 利根町や阿見町等を参考にするとかそういう風に決めていくなればそれはそれで。やはり町長となると、土日はあって無いようなもので、今は休みがほぼ無いというのが現状になります。

【会長】 町長が 61 万円ということですが、なぜここまで下げたのかという感じですね。

【事務局】 当時、行政改革が行われており、その項目の一つとして給与を 15%下げましょうという項目があって、その下げた数字がこの数字でした。

【委員】 この資料を見ると町長と議員で差があるところが多いですね。一番上の茨城町を見ても、町長が 86 万 8000 円、議員が 31 万円ということ。

【委員】 今は比較的年配の方が多く、これからの河内を考えた時に例えば 40 代 50 代の人が議員になったのときのことはある程度考えておいたほうがいいと思います。若手は議員をやりながら、何か仕事をしないといけないような状態なので。

【委員】 他の市町村でもそういった問題は耳にしますが、やはりある程度の報酬はないといけないですね。

- 【委員】 いくらに決めるとしても、その金額にする根拠がほしいですね。
- 【委員】 議員は月に大体どれくらい働いているのでしょうか。
- 【委員】 個人差がありますね。
- 【委員】 議会活動の実態というものが可視化されていないというのも問題点ですね。
- 【事務局】 お手元の資料の中に消費者物価指数の状況について記載がありまして、全体的に 20 年で約 10%上がっております。ただ、この辺りを加味するかしないかとなると、また計算式がどうなるかとなってしまいますけど、やはり数字を決めるというのは難しいことだと思います。
- 【委員】 町長が元々 72 万円、それで仮決めが 75 万円そこに物価の分も上乘せしたら 79 万円くらいになってしまいますね。
- 【委員】 そうですね。では、元々の額に物価上昇の分の 10%を掛けるくらいでちょうどいいのではないのでしょうか。前改定が 20 年前ですからね。
- 【会長】 改定前に 10%掛けるということでもいいのではないのでしょうか。
- 【事務局】 それでは後日報酬額について何パターンか案を作りますので、次回の会議でご検討いただくという形でよろしいでしょうか。
- 【委員】 そうですね。額はなかなか決まらないと思いますし。
- 【事務局】 時期についてはいかがでしょうか。
- 【委員】 個人的には今すぐにでも上げたいところなのですが、来年度からでよろしいのではないのでしょうか。1 年経てば新年度予算にもなりますし。
- 【会長】 令和 7 年度からということですね。
- 【委員】 そうですね、年度がいいと思います。
- 【会長】 先ほどから話題に出ている議員の姿が見えないという問題点もこれを機会に変えるよう努力していただきたいですね。では、来年 4 月以降の改定実施ということで。金額的なところは先ほどのとおりということで、こういう形で集まりましたので、報酬以外のことも審議会の意見としてありましたらお願いします。
- 【事務局】 この後、事務局の方で案を作成しまして、事前に郵送で送らせていただきます。次回の審議会は 5 月 10 日午後 1 時開催ということでよろしいでしょうか。
- （全員賛成）
- 【会長】 本日はお集まりいただきありがとうございます。